

いぶりの森づくり

胆振の概況 2022

- 管内の森林面積は、252千haで総土地面積の68.2%、全道森林面積の4.6%を占めています。また、森林蓄積量は30,255千m³で、全道森林蓄積量の3.6%を占めています。
- 管内の森林の構成は、人工林が75,521ha、天然林が163,975haとなっています。また、人工林では、大半を占めるトドマツ、カラマツ類が成熟期を迎えており、地域材としての利用が期待されています。
- 管内は、道内の木材・木製品の輸入拠点となっており、室蘭港、苫小牧港の2港で、丸太の61.5%、製材の96.6%、チップの75.8%が輸入されています。
- 管内の森林づくりは、道が令和4年3月に策定した新たな「北海道森林づくり基本計画」に基づいて進められており、森林資源の循環利用と木育の一層の推進を施策推進の基本的な方向として、課題解決に向けた7つの「重点的な取組」を設定しました。

◇森林資源の循環利用の推進

- ①ゼロカーボン北海道の実現に向けた活力ある森林づくり
- ②広葉樹資源の育成・有効活用
- ③道産トドマツ建築材の安定供給体制の強化
- ④森林づくりを担う「人材」の確保
- ⑤スマート林業による効率的な施業の推進
- ⑥HOKKAIDO WOOD ブランドの浸透などによる道産木材の需要拡大

◇木育の推進

- ⑦木育マイスターや企業などによる木育活動の推進

これら7つの重点的な取組については、具体的な取組内容に加え、行政や事業者等の行動主体明示するとともに、計画期間内に達成すべき重点的な取組の指標を設定することにより、市町や事業者などとの協調のもとで着実な推進を図ることとします。

◎木材関連生産量

製材	チップ	素材	木質ペレット
58千m ³	142千m ³	121千m ³	2,515トン

(林産関係調査及び林務課資料)

◎木材・木製品輸入量

区分	丸太	製材	チップ
室蘭・苫小牧港(A)	16千m ³	227千m ³	414千トン
全道(B)	26千m ³	235千m ³	546千トン
A / B (%)	61.5	96.6	75.8

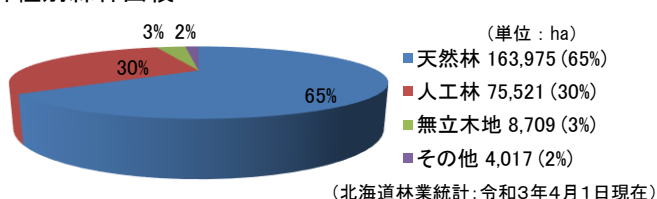
(北海道木材貿易実績：令和2年度実績)

◎特用林産物生産量

区分	生しいたけ	乾しいたけ	その他きのこ
胆振管内(A)	1,950トン	2トン	5,834トン
全道(B)	5,424トン	14トン	11,614トン
A / B (%)	36.0	14.3	50.2

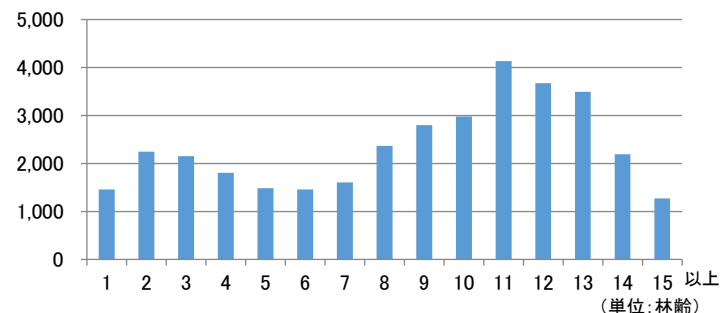
(北海道特用林産物統計：令和2年度実績)

◎林種別森林面積



◎人工林年齢別資源構成 (一般民有林)

(単位：ha)



※年齢級=5年ごとの林齢

(胆振総合振興局林務課資料：令和3年4月1日現在)

◎森林面積

(単位：ha)

区分	面積
森林	252,223
国有林	100,495
森林管理局所管	99,107
その他国有林	1,388
民有林	151,728
道有林	32,661
市町村有林	16,094
その他民有林	102,972
その他(森林外)	117,499

(北海道林業統計：令和3年4月1日現在)

◎樹種別森林蓄積量

(単位：千m³)

針葉樹計 13,818	トドマツ	5,991
	エゾマツ	876
	カラマツ類	5,580
	アカエゾマツ	709
	スギ	35
広葉樹計 16,437	ヒノキアスナロ(ヒバ)	0
	その他	627
	ナラ類	2,704
	カンバ類	3,217
	シナノキ	1,705
	カエデ	2,066
	フナ	2
	ニレ	210
	ハリギリ(センキ)	285
	タモ類	367
	カツラ	248
その他	5,633	
合計	30,255	

(北海道林業統計：令和3年4月1日現在)

◎保安林指定面積

(単位：ha)

区分	面積
水源かん養保安林	127,446
土砂流出防備保安林	21,136
土砂崩壊防備保安林	600
その他保安林	1,675
合計	150,857

(北海道林業統計：令和3年4月1日現在)